

2020/21サッカー競技規則改正-試合結果の決定(第10条)

-試合終了後からペナルティーマークからのキック(KFPM)終了までの警告の扱いについての解釈

-審判報告書の時間表記

Japan Football Association

JFA審判委員会

2020年7月14日

JFA



試合終了後からペナルティーマークからのキック(KFPM)終了までの
警告の扱いについての解釈

試合結果の決定(第10条)－ 3. ペナルティーマークからのキック

【変更】

- 試合後にペナルティーマークからのキックが行われるときも、他に規定されていない限り、競技規則の関係諸条項が適用される。試合中に退場を命じられた競技者のキックへの参加は認められないが、試合中に示された注意や警告はペナルティーマークからのキックに繰り越されない。

【解説】

- ペナルティーマークからのキック(KFPM)は「試合の一部ではない」ので、(延長戦を含む)試合中に示された警告や注意はKFPMに繰り越されない。
- 同じ競技者が、「試合中」および「KFPM」にそれぞれ1度ずつ警告を受けたとしても、「同じ試合の中で2つ目の警告」ではないため「退場」とはならない。よって、「退場」という理由で、次の試合の自動的な出場停止とはならない。
 - ✓ 競技会で導入されている「警告の累積」については規律委員会で決定

試合終了後からKFPM終了までの警告の扱いについての解釈

試合(延長戦含む)終了のホイッスル後、どの時点がKFPMの始まりと考えるか、即ち、試合中に示された警告がどの時点をもって持ち越されないと判断されるのか？

- 試合(延長戦含む)終了のホイッスル後、両チームの選手が自分のベンチ前に戻り終えた時(競技のフィールド内)を試合終了の目安とする。
- 選手およびチーム役員が「落ち着いている」ことを前提とし、選手が「戻り終えたか否か」については、主審が判断する。
 - ✓ 即ち、主審が「戻り終えた」と判断した後、選手が警告となるような行為をした場合は、KFPM中の警告として扱われる。
- 「主審は、試合前の競技のフィールド点検のために競技のフィールドに入ったときから試合(ペナルティーマークからのキックを含む)終了後に競技のフィールドを離れるまで、懲戒処置を行使する権限をもつ。」と第5条に示されている。よって、KFPM終了後、主審がフィールドを離れる前に示された警告は、KFPMの間に示されたものとして考える。

No	試合前・前半・HT・後半 延長前・延長前半・延長後半前・延長後半		KFPM前 インターバル	KFPM	KFPM後	結果	カード提示	Y C	R C	累積 警告	
	1	警告1	警告2				退場	YC+(YC+RC)	2	1	0
2	警告1		警告2 *①			退場	YC+(YC+RC)	2	1	0	
3	警告1			警告(1)		警告・(警告)	YC+YC	2	0	2	
4	警告1				警告(1) *フィールドを去る前	警告・(警告)	YC+YC	2	0	2	
5			警告1 *①	警告(1)		警告・(警告)	YC+YC	2	0	2	
6	【警告の表記について】 ※ 試合中の警告 警告1 or 警告2 ※ KFPMの警告 警告(1) or 警告(2) (KFPM: 試合終了後、選手がベンチ前に戻り終えた後)		警告(1) *②	警告(2)		退場	YC+(YC+RC)	2	1	0	
7			警告1 *①		警告(1) *フィールドを去る前	警告・(警告)	YC+YC	2	0	2	
8			警告(1) *②		警告(2) *フィールドを去る前	退場	YC+(YC+RC)	2	1	0	
9				警告 (1)	警告 (2)		退場	YC+(YC+RC)	2	1	0
10				警告(1)	警告(2) *フィールドを去る前	退場	YC+(YC+RC)	2	1	0	
11	警告1			警告(1)	警告(2) *フィールドを去る前	退場	YC+YC+(YC+RC)	3	1	1	

*① 試合終了後、選手がベンチ前に戻り終える前

⇒警告が示された場合、この警告は試合中に示されたものとする。

*② 試合終了後、選手がベンチ前に戻り終え、主審が選手・チーム役員ともに落ち着いたことを確認した後

⇒警告が示された場合、この警告はKFPM中に示されたものとする。



審判報告書の時間表記

「審判報告書の記入上の注意」 * サッカー競技規則2020/21より(P297)

警告

1. 時間 *「試合イベント時間表記統一について」参照
 - 試合中:前、後半の通算時間また延長も通算時間を記入する。
 - ペナルティーマークからのキック:「PK」と記入する。
2. チーム名
3. 選手の番号、チーム役員の場合は、役職
4. 氏名(フルネームで記入すること)
5. 理由(競技規則の記載どおりに記入する。ただし、「ラフプレー」は、競技規則では「反スポーツ的行為」に含まれるが、日本では独立した警告の項目としている。適用を間違えないよう、注意する)
6. 具体的な反則の内容

審判報告書への記入方法について

状況	時間表記
試合開始前	KO前
試合中(延長戦含む)	* 試合時間
ハーフタイム	HT
延長戦開始前	延KO前
延長戦ハーフタイム	延HT
試合終了の笛から、競技者がベンチ前に戻り終える前まで	終了後
ペナルティーマークからのキック(KFPM) * 競技者がベンチ前に戻り終え、主審が競技者・チーム役員ともに落ち着いたことを確認した後から、KFPMが終了し主審がフィールドを離れるまで	PK